川崎市議会議員
本間 賢次郎 ケンジロウ
市政レポート No. 59（令和４年11月号）
未来へ働き続ける、想いを「ツナ」ぐ。
イメージキャラクター：本マグロ ツナジロウ
事務所 〒210-0834 川崎市川崎区大島 3-14-17
TEL044-742-8072 FAX044-211-1081

11月のご挨拶



一年に４度開かれる定例会の内、最も長丁場の議会である「決算議会」が10月14日に閉会致しました。今議会では、議論の中心となる前年度決算をはじめ、追加議案を含め83件の議案と４件の報告が上程されました。

補正予算では、後述のとおりコロナ禍でのインフルエンザのダブル流行に備えた高齢者予防接種の無償化や川崎駅周辺への防犯カメラを設置する防犯対策事業費などを盛り込んだ他、今、生活を直撃している物価高騰対策等について成立させました。市政一般については、先月号でお伝えした「小児医療費助成制度」の他、引き続きのコロナ対応について、来年に高炉が休止となるJFEスチールの大規模跡地利用について、AIを活用した救急隊の早期現場到着に向けた実証実験、再生エネルギーの促進など41項目に渡り、各取り組みや課題について議論を行いました。

市民生活を守る！
物価高騰対策の補正予算について

冒頭にありますように、今議会では、予防接種事業費（高齢者のインフルエンザ予防接種自己負担分を無償化する事業 ※今年度限定）、新型コロナウイルス対策事業費（インフルエンザ同時流行に備え、医療機関や高齢者福祉施設等への抗原検査キットの備蓄拡充等を進める事業）、そして、食材・エネルギー等物価高騰対策事業費などを主な内容とした約113億円の補正予算が計上されました。

我々、自民党会派は、前回定例会の６月議会から物価高騰対策を求めてきており、その結果、本議会では食材費高騰による給食費等の値上げ圧力に対して、保護者負担の増加抑制を目的とした市立学校・保育所・幼稚園等への食材費値上げ相当分の補助事業が補正予算として計上されました。

また、国の交付金を活用した高齢者福祉施設、保育所、幼稚園等の電気料金等光熱費の負担軽減を目的とした補正予算も示され、令和４年４月から令和５年３月までを対象期間とし、児童一人あたりの昨年度給食費の平均値に、消費者物価指数の上昇率を乗じて算定された補正予算額が計上されました。

引き続き、社会環境の急激な変化によって発生する負担増への対策を進めて参ります。

歴史的資源を活かし、観光施策の充実を！
東海道川崎宿起立 400 年（令和 5 年）と
その先の街づくりへ！

決算審査特別委員会総務分科会において、今春に実施された多摩川クルーズなどの六郷橋下の広場を活用したイベントを念頭に、経済労働局には東海道川崎宿という歴史的資源のインバウンド施策への活用のあり方について質問し、同広場の整備については建設緑政局、そして、当地域の特性を活かした街づくりを進める必要があるとして、まちづくり局には昨年の決算議会に続いて今年も京急川崎駅周辺の再開発事業について意見、要望を行いました。

私は、初当選以来、東海道川崎宿起立 400 年が来年に迫る中、その機運の醸成やその先へと活かすべき文化や人々の営み、街の景観づくりについて取り組んでいますが、経済労働局ではその歴史的資源の価値を認める一方で、京急川崎駅周辺の再開発事業を担うまちづくり局には、地元市民の意見とに差異があります。今後も観光産業の活性化と地元愛の根づく街づくりの両立に向けて、取り組んで参ります。